

2026 年 8 月 24 日
日本郵便株式会社

島根県石見地域で「石見周遊デジタルスタンプラリー」を開催！
～観光施設と「食・神楽」のイベントを組み合わせ、持続可能な地域共創モデルを推進～

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長兼執行役員社長 小池 信也、以下「日本郵便」）は、公益社団法人島根県観光連盟（島根県松江市、会長 鷗鷯 順、以下「観光連盟」）から、昨年度に引き続いて島根県石見地域のデジタルスタンプラリー業務を受託します。

本施策では、LINE を利用して手軽にデジタルスタンプ^{（注1）}を取得できる仕組みを活用します。

昨年度実施した同デジタルスタンプラリーが好評だったことを受け、今年度はスポットを拡大して実施します。

1. 背景・目的

現在、地域の賑わい創出において「観光」は重要な入り口となっています。しかし、観光客の来訪は「誰がどこを巡ったのか分からない」という一過性のものにとどまりやすく、地域と観光客との間で次につながる関係性を築きにくいことが課題となっています。この課題に対し、昨年度（2026 年 1 月～同年 3 月）、日本郵便は観光連盟が主催する「石見周遊デジタルスタンプラリー」を受託し、広域周遊の促進と賑わいの創出に取り組みました。

その結果、全 15 カ所を巡り完全制覇される人も含め、約 1,200 名にご参加いただくなど、エリア全域への広域周遊を促進しました。さらに、取得したデータにより、道の駅をつなぐルートや歴史・食を巡るルートなど、エリア内の活発な周遊傾向を可視化することができました。今年度はこの実績を踏まえ、取り組みをさらに発展させ、対象スポットの拡大や「食・イベント」との連動を通じて、再訪の促進や石見地域と継続的に関わる方々の創出につなげる仕組みの構築を目指します。

2. 施策概要



名 称	石見周遊デジタルスタンプラリー
開 催 期 間	2026 年 9 月 1 日（火）～2027 年 1 月 11 日（月・祝）
対 象 エ リ ア	島根県石見地域 9 市町（浜田市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町）
ス ポ ッ ト	約 50 カ所（観光施設などの立ち寄りスポットに加え、秋の各種食イベントや伝統芸能「石見神楽」の公演会場などを対象に設定）
参 加 方 法	スマートフォンなどで各スポットに設置された二次元コードを読み取り、観光連盟の LINE 公式アカウントを友だち追加の上、デジタルスタンプを取得
参 加 費	無料（期間中の参加は各スポット 1 回まで） ※スタンプ取得などに伴う通信料は、参加者さまのご負担となります。
特 典	“しまねっこ” オリジナル壁紙、しまねっこオリジナル LINE スタンプ、石見地域特産品など
W e b サ イ ト	https://www.sushitop.io/6web3layer/shimanekko2026/top/index.html
そ の 他	本プレスリリースの発信に併せて、石見周遊デジタルスタンプラリーの対象となっているチラシ限定のスタートスタンプを配布します ぜひ、以下 URL または二次元コードからお受け取りください https://liff.line.me/2010651110-ICfMcAGJ/?distType=web3layer&campaign=shimanekko2026/stamp&token=1a-s1s3r0d1p4w 

3. デジタルスタンプラリーの特長

(1) 施設とイベントの組み合わせによるファン創出

常設の観光施設に加え、月替わりの食イベント（「魚まつり」や「フルーツ&スイーツまつり」など）や「石見神楽」の定期公演会場などを対象スポットに設定しています。これにより、何度訪れても新たな石見の魅力に出会える仕組みをつくり、石見地域への再訪を促進し、石見地域と継続的に関わる方々である「石見ファン（関係人口^{（注2）}）」の創出につなげます。

(2) 周遊状況のデータ化と活用

紙のスタンプラリーでは把握が困難だった「参加者がどのような順番で回っているか」という移動傾向を、個人情報を取得しない匿名性を保ったままのデータとして蓄積し、今後の観光施策の参考として活用します。

(3) 参加ハードルの低さと「継続的な関係構築」

専用アプリは不要で、日常的に利用する LINE と二次元コードの読み取りだけで、手軽にご参加いただけます。スタンプを集めて終わるのではなく、観光連盟の公式 LINE アカウントを通じて施策後も地域情報を継続的に配信することで、参加者との日常的な関係性を構築します。

(4) 「郵便局のメディア化」による広域送客

実施地域の郵便局を回遊のハブとして機能させるだけでなく、広島の一部郵便局で本施策のポスターを掲示するほか、東京の一部郵便局で関連のイベントを実施するなど、全国規模のリアルなネットワークを活かし、都市部を含めた遠方からの広域誘客を後押しします。

4. 総務省への届け出と事業化

これまでの島根県大田市や宮城県東松島市などにおける複数の NFT を活用したデジタルスタンプラリーの実証から得られた効果とノウハウを活かすべく、本年 6 月 15 日付で「地域事業者等が実施する地域活性化を目的とした事業の支援業務」を業として行う旨を総務省に届け出しました。届け出の内容はデジタルスタンプラリーに限るものではありませんが、

本施策はその第一号案件となります。今後も全国において、NFT を活用した地域データベースの構築と、当該情報を基にした観光体験の向上や来訪誘致、関係人口創出などの地域支援に取り組んでまいります。併せて、郵便局という地域に根ざしたネットワークを生かし、デジタル技術と組み合わせることで、地域の活力向上や持続的な関係づくりに貢献する仕組みづくりを進めてまいります。

5. 今後の取り組みと展望

本施策では、デジタルスタンプラリーによる周遊促進に加え、取得した動態データを次なる観光施策やプロモーションの改善に活かすことで、観光を通じた地域社会の活性化に貢献してまいります。

今後は、こうしたリアルとデジタルを組み合わせた仕組みを、地域の特性に応じた観光施策や地域活性化の取り組みに生かしながら、自治体や事業者の皆さまと連携して展開してまいります。

今後もこのような取り組みを始め、日本郵便は地域社会の生活基盤を支え、持続可能で魅力ある地域づくりに伴走してまいります。

【注釈】

- (注1) 本施策のデジタルスタンプには、デジタルデータに唯一性を付与する NFT（非代替性トークン）技術を活用しており、安全かつ匿名性を保ったデータ蓄積を実現しています。
- (注2) 地域への関心を深め、定住でも一時的な観光でもない多様なかたちで、地域や地域の人々と継続的なかわりを持つ人を指します。
- (注3) 島根県観光連盟が運営する LINE 公式の画面に遷移しますので、友だち追加後、デジタルスタンプラリーの Web サイトに遷移し、デジタルスタンプを受け取ることが可能です。デジタルスタンプの受け取りはスマートフォンのみ可能です。

【参考：プレスリリース・お知らせ】

- ・ NFT を活用した実証実験（地域共創 NFT プロジェクト）の開始～石見銀山エリアにて第 1 弾スタート～（2025 年 1 月 9 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/71437688107.html>
- ・ 地域共創 NFT プロジェクトの一環で NFT を活用した石見銀山デジタルスタンプラリースタート！（2025 年 3 月 26 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/68402948114.html>
- ・ 東松島市との NFT を活用した新たな観光体験プロジェクトの実施～地域共創 NFT プロジェクト第 2 弾～（2025 年 7 月 24 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/546135815.html>
- ・ 石見銀山エリア（島根県大田市）での地域共創 NFT プロジェクトに関するお知らせ（2025 年 7 月 29 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/555906019758.html>
- ・ 島根県石見地域および島根県益田市でデジタルスタンプラリーを同時開催！～石見地域・日本遺産の観光を通じた地域活性化を目指して～（2026 年 1 月 8 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/749740232.html>

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社 地域共創プロジェクト事務局
<jp_local_co-creation_project.ii@jp-holdings.jp>